

株式会社 鈴木

2023年6月期第2四半期
決算説明資料

February 17, 2023

MICRON
&
ELECTRON

SUZUKI CO.,LTD.



東証プライム code:6785

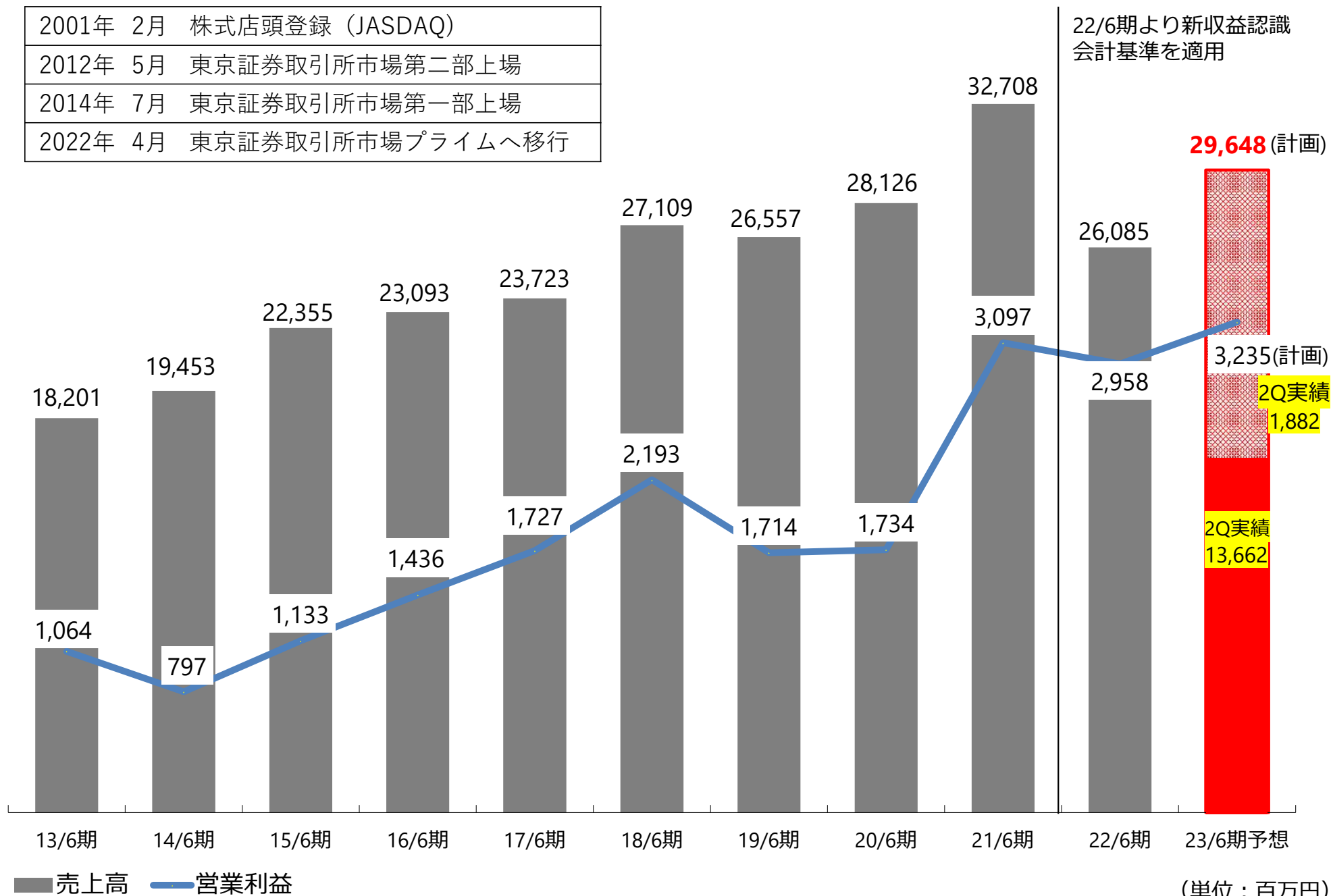
2023年6月期第2四半期業績説明

成長の軌跡

※当期より売上原価から控除しておりました有償受給取引における受給品に含まれる標準スクラップ価額を「売上高」に含めて表示しております。2022年6月期の「売上高」については、この表示方法を反映させた組替え後の数値で表示しております。

2

2001年 2月	株式店頭登録 (JASDAQ)
2012年 5月	東京証券取引所市場第二部上場
2014年 7月	東京証券取引所市場第一部上場
2022年 4月	東京証券取引所市場プライムへ移行



- 2023年6月期第2四半期の営業利益は前期比で21.1%増加
- 部品セグメントの主力であるスマートフォン関連部品の需要は減速しましたが、産機向けや車載向けの電子部品は好調で生産効率を押し上げました。
自動車電装部品は堅調に推移しました。
- 機械器具セグメントの自動機器は仕入部材の長納期化により生産計画に対して遅れが生じました。
医療組立は増産計画に沿って堅調に推移しました。

(単位：百万円)

	2022年6月期 第2四半期		2023年6月期 第2四半期		増減	
	金額	売上比%	金額	売上比%	金額	増減比%
売上高	13,056	-	13,662	-	606	4.6
売上総利益	2,573	19.7	2,965	21.7	391	15.2
営業利益	1,554	11.9	1,882	13.8	327	21.1
経常利益	1,610	12.3	2,035	14.9	425	26.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	922	7.1	1,284	9.4	361	39.2

セグメント別売上高 計画と実績

(単位：百万円)

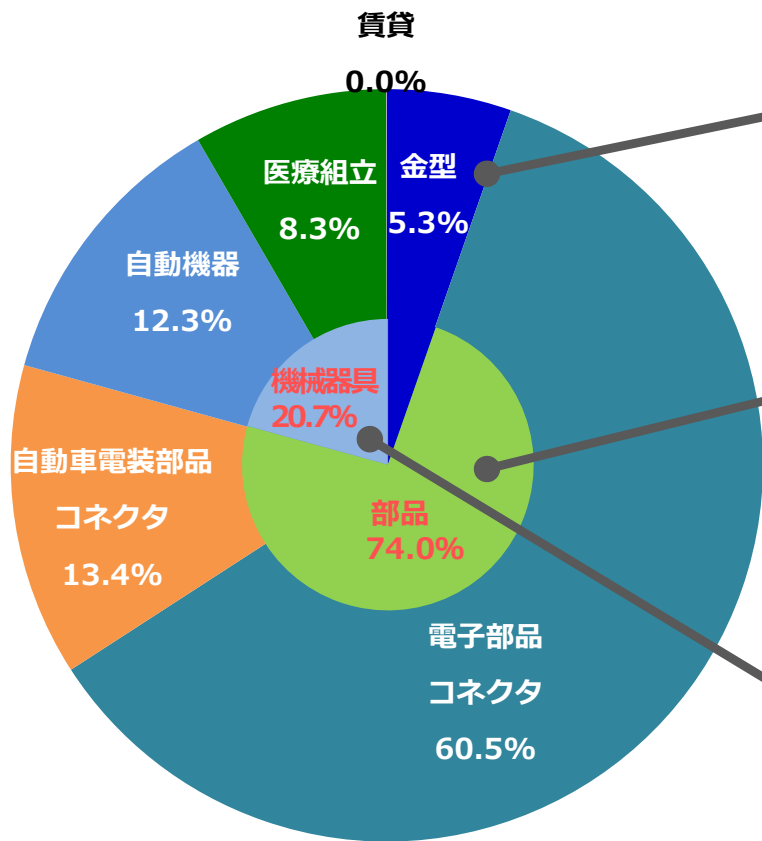
	2023年6月期 第2四半期 当初計画		2023年6月期 第2四半期 実績		増減	
	金額	構成比%	金額	構成比%	金額	計画比%
■ 金型	931	6.5	730	5.3	△201	△21.5
■ 部品	10,407	72.1	10,104	74.0	△303	△2.9
■ 電子部品コネクタ	8,587	59.5	8,267	60.5	△319	△3.7
■ 自動車電装部品コネクタ	1,820	12.6	1,836	13.4	16	0.9
■ 機械器具	3,084	21.4	2,825	20.7	△259	△8.4
■ 賃貸	3	0.0	3	0.0	0	△9.1
合計	14,425	100	13,662	100	△763	△5.3

セグメント別売上高 前期比較

(単位：百万円)

	2022年6月期 第2四半期 実績		2023年6月期 第2四半期 実績		増減	
	金額	構成比%	金額	構成比%	金額	前期比%
■ 金型	676	5.2	730	5.3	54	8.0
■ 部品	9,435	72.3	10,104	74.0	669	7.1
■ 電子部品コネクタ	7,625	58.4	8,267	60.5	642	8.4
■ 自動車電装部品コネクタ	1,810	13.9	1,836	13.4	26	1.4
■ 機械器具	2,940	22.5	2,825	20.7	△115	△3.9
■ 賃貸	4	0.0	3	0.0	△1	△23.8
合計	13,056	100	13,662	100	606	4.6

2023年6月期第2四半期 セグメント別売上高構成、前年同期比較



【金型セグメント】

- 電子機器向けは、産機向けや半導体関連を中心に増加し、自動車関連も堅調に推移して増収
- 売上高 730百万円、前年同期比8.0%増
- セグメント利益 146百万円、前年同期比1.7%増

【部品セグメント】

- 電子部品コネクタは、スマホ向けが低調でしたが、産機・半導体・車載向けが好調に推移して増収
売上高8,267百万円、前年同期比8.4%増
- 自動車電装部品コネクタは、堅調に推移して増収
売上高1,836百万円、前年同期比1.4%増
- セグメント利益 2,030百万円、前年同期比24.4%増

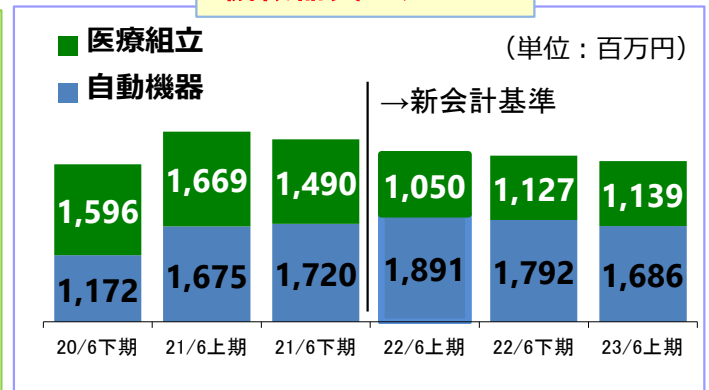
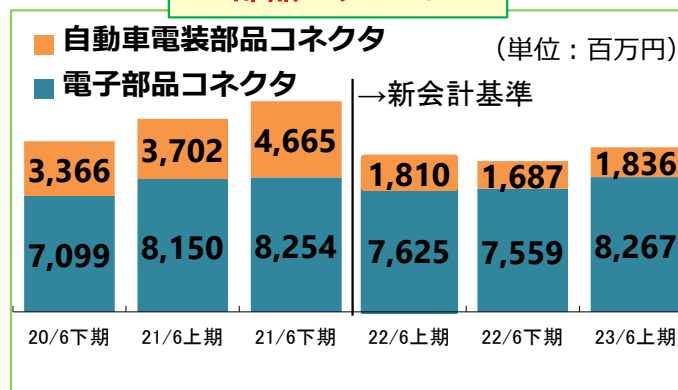
【機械器具セグメント】

- 自動機器は、購入部材の長納期化により生産計画に対して遅れが生じ減収
売上高1,686百万円、前年同期比10.8%減
- 医療組立は、堅調に推移して増収
売上高1,139百万円、前年同期比8.5%増
- セグメント利益 242百万円、前年同期比17.5%減

金型セグメント

部品セグメント

機械器具セグメント



連結貸借対照表

6

(単位：百万円)

財務体質は
健全な水準を維持

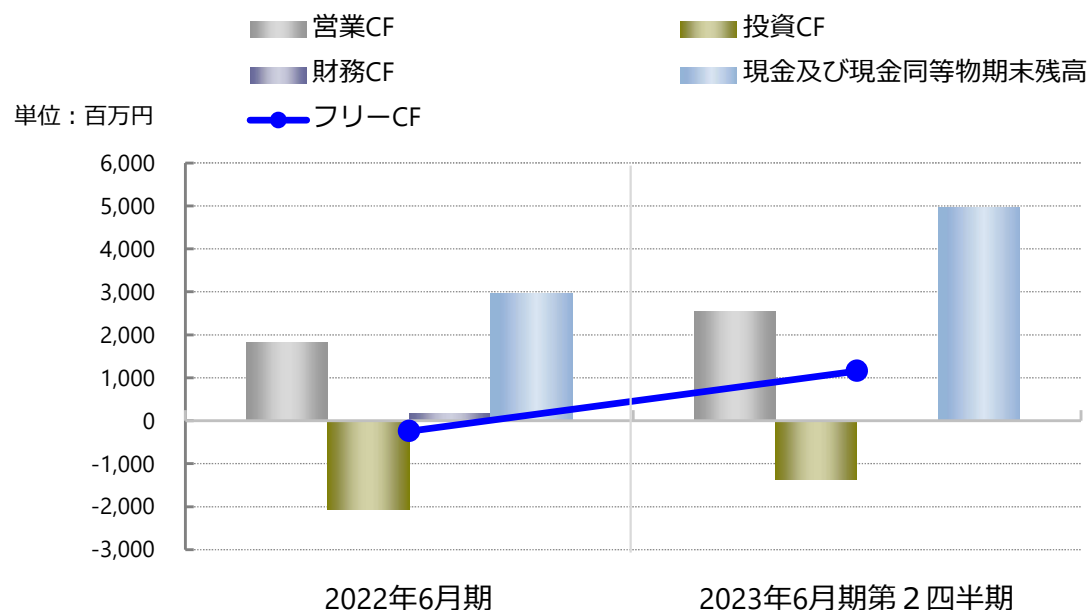
	22/6期 期末	23/6期 第2四半期	増減額
流動資産	14,385	16,516	2,131
現金及び預金	4,149	5,204	1,054
受取手形及び売掛金	5,983	6,048	64
たな卸資産	3,386	3,960	574
固定資産	17,876	18,806	929
有形固定資産	16,093	17,108	1,015
無形固定資産	94	105	10
投資その他の資産	1,689	1,592	△96
資産合計	32,262	35,323	3,060
流動負債	7,656	9,389	1,732
買掛金+契約負債+前受金	4,001	5,095	1,094
未払金	451	1,095	643
未払法人税等	488	607	118
固定負債	2,890	3,400	509
長期借入金	1,534	2,086	551
純資産	21,714	22,533	818
負債及び純資産合計	32,262	35,323	3,060

	22/6期 期末	23/6期 第2四半期
短期借入金	1,397	1,318
一年内返済予定 長期借入金	478	662

	22/6期 期末	23/6期 第2四半期
有利子負債	3,410	4,067

	22/6期 期末	23/6期 第2四半期
流動比率	175.2%	175.9%
当座比率	136.3%	122.9%
固定比率	82.4%	85.4%
自己資本比率	65.7%	62.3%

連結キャッシュフロー計算書



(単位：百万円)

	2022/6期 第2四半期	2023/6期 第2四半期
営業活動によるキャッシュフロー	1,819	2,537
投資活動によるキャッシュフロー	△2,062	△1,378
フリーキャッシュフロー	△242	1,159
財務活動によるキャッシュフロー	165	△1
現金及び現金同等物に係る換算差額	△38	△103
現金及び現金同等物の増減額	△116	1,054
現金及び現金同等物の期末残高	2,962	4,916

【営業活動によるキャッシュフローの主な項目】

税引前当期純利益	2,035百万円
仕入債務の増減額	1,077百万円
減価償却費	952百万円
棚卸資産の増減額（増：△）	△525百万円
法人税等の支払額	△458百万円

【投資活動によるキャッシュフローの主な項目】

有形固定資産の取得による支出	△1,331百万円
----------------	-----------

【財務活動によるキャッシュフローの主な項目】

長期借入金による収入	1,000百万円
長期借入金の返済による支出	△264百万円
配当金の支払額	△286百万円
短期借入金の純減少額	△230百万円
非支配株主への配当金の支払額	△179百万円

事業状況

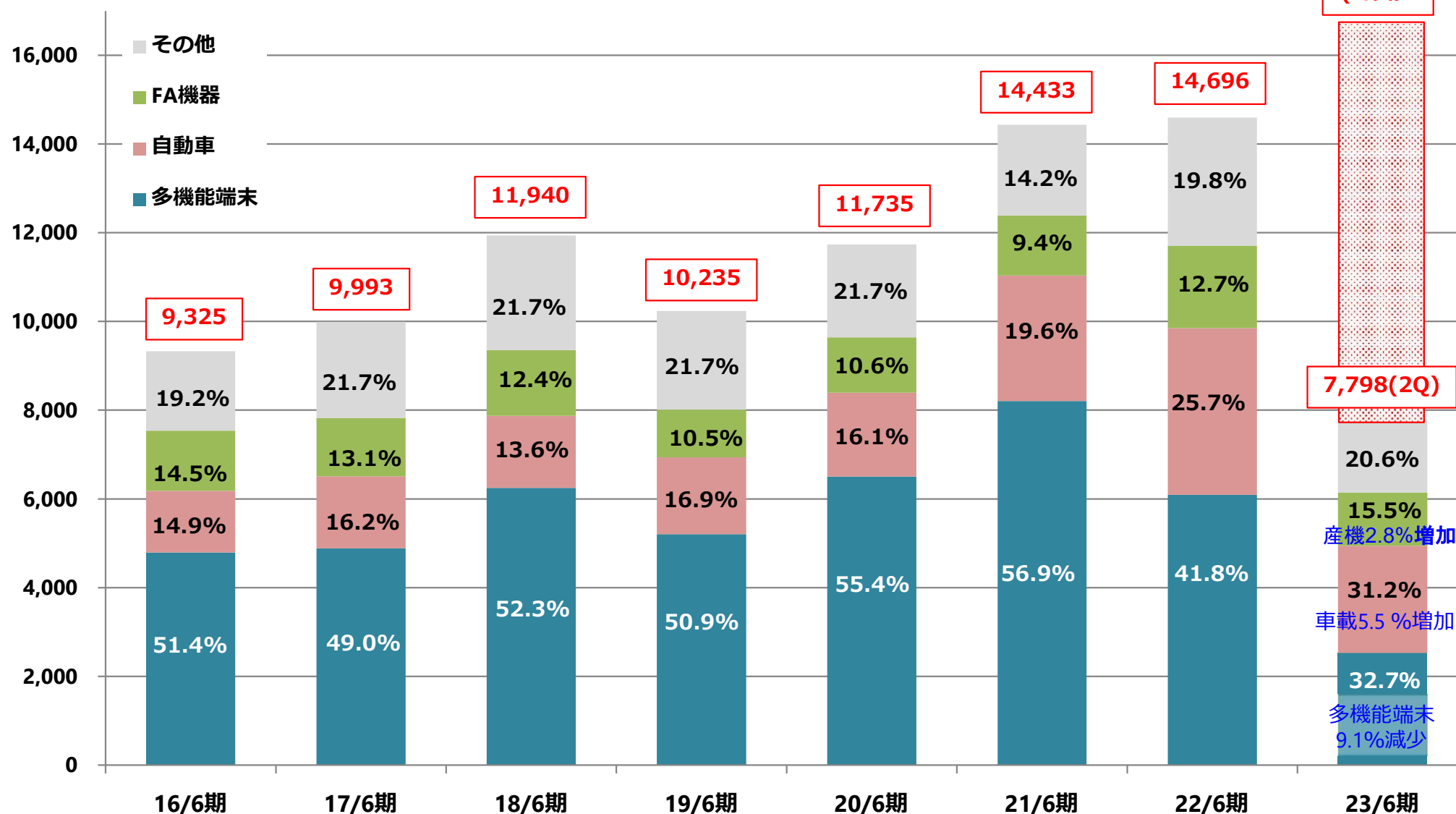
独自技術と融合技術の深化

単位：百万円

電子部品コネクタ（単体）

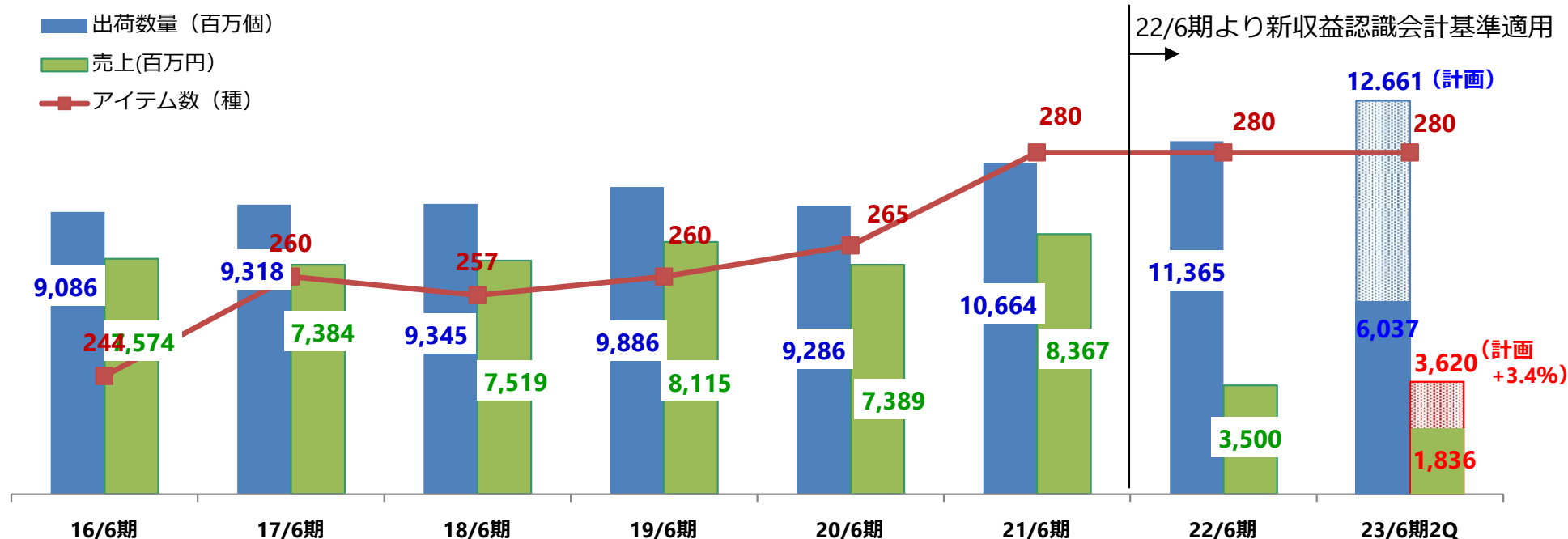
用途別の売上比率（％）

※旧会計基準で比較



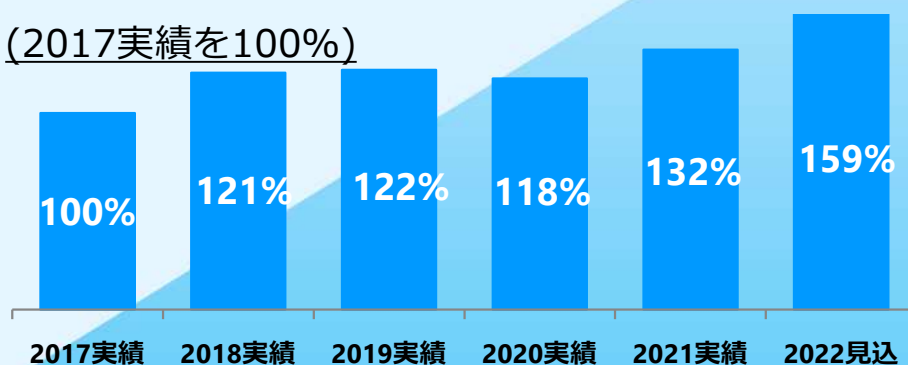
継続的な事業拡大を目指します

売上及び出荷数量、生産アイテム数の推移



顧客のグローバル販売数量推移

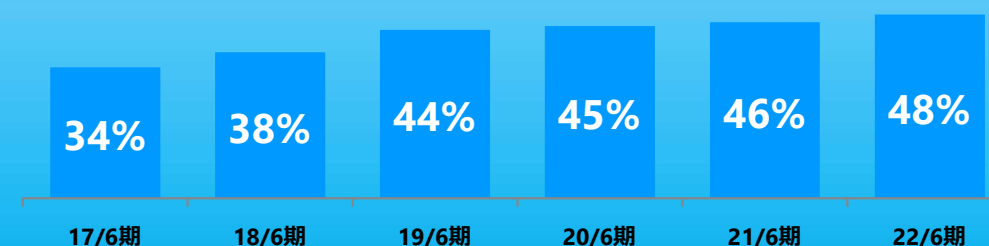
(2017実績を100%)



顧客内シェア推移

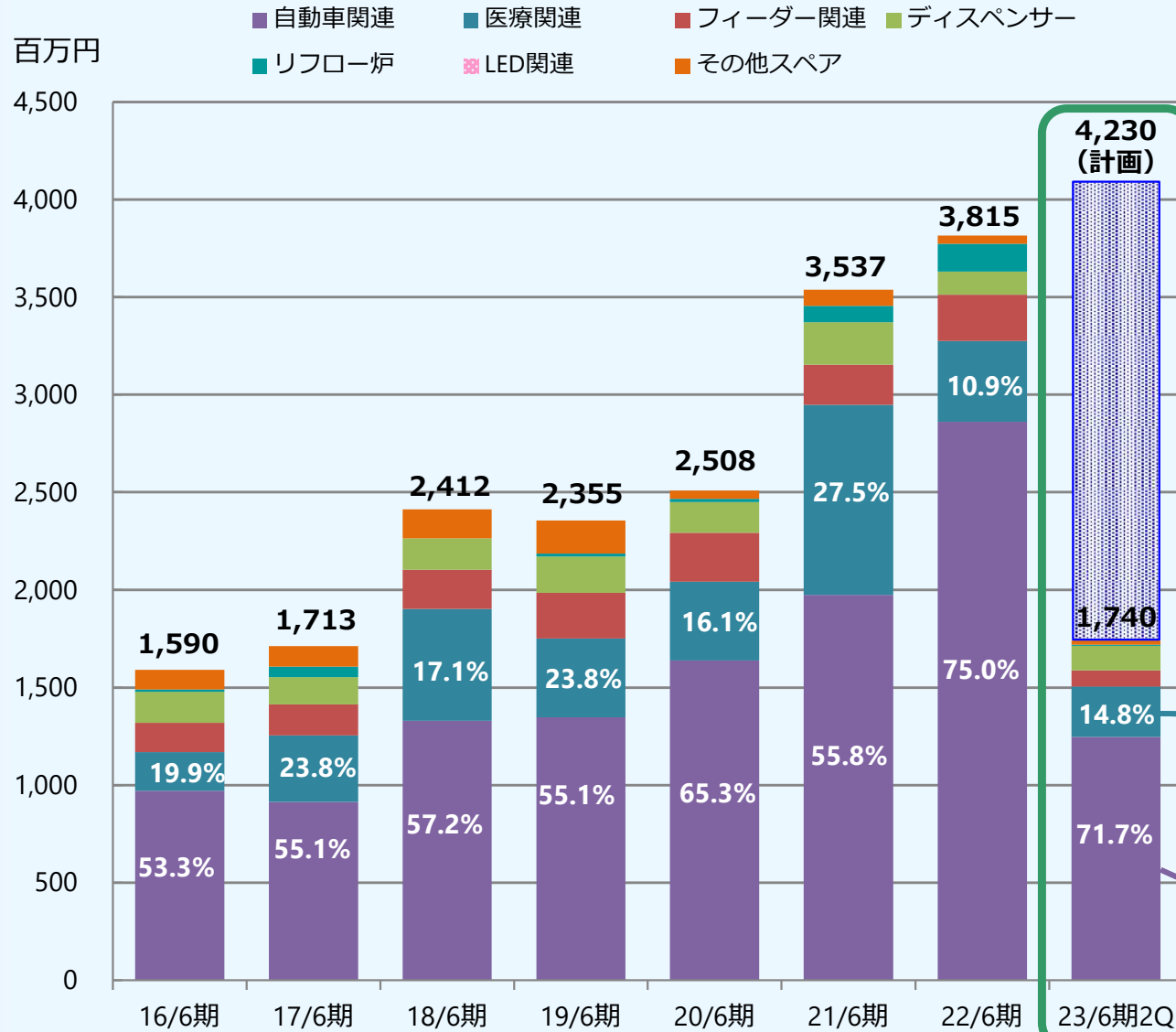
金型技術、量産技術を背景に
シェアを維持

※ 顧客の国内の仕入先における生産数量から算出

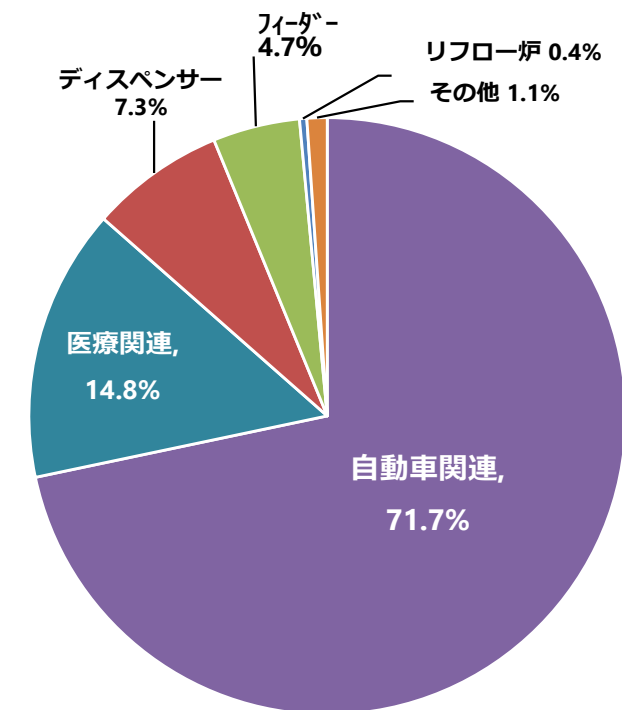


技術力・提案力を活かし新たな分野にもチャレンジ

売上(社内売買含)推移と構成比率



23/6期2Q 売上構成比率



医療関連

子会社(イメージ)向け医療組立用の自動化・省力化装置などを、開発・製造。当期は子会社増床の量産設備設置が完了し、省力化用装置の開発に注力しています。

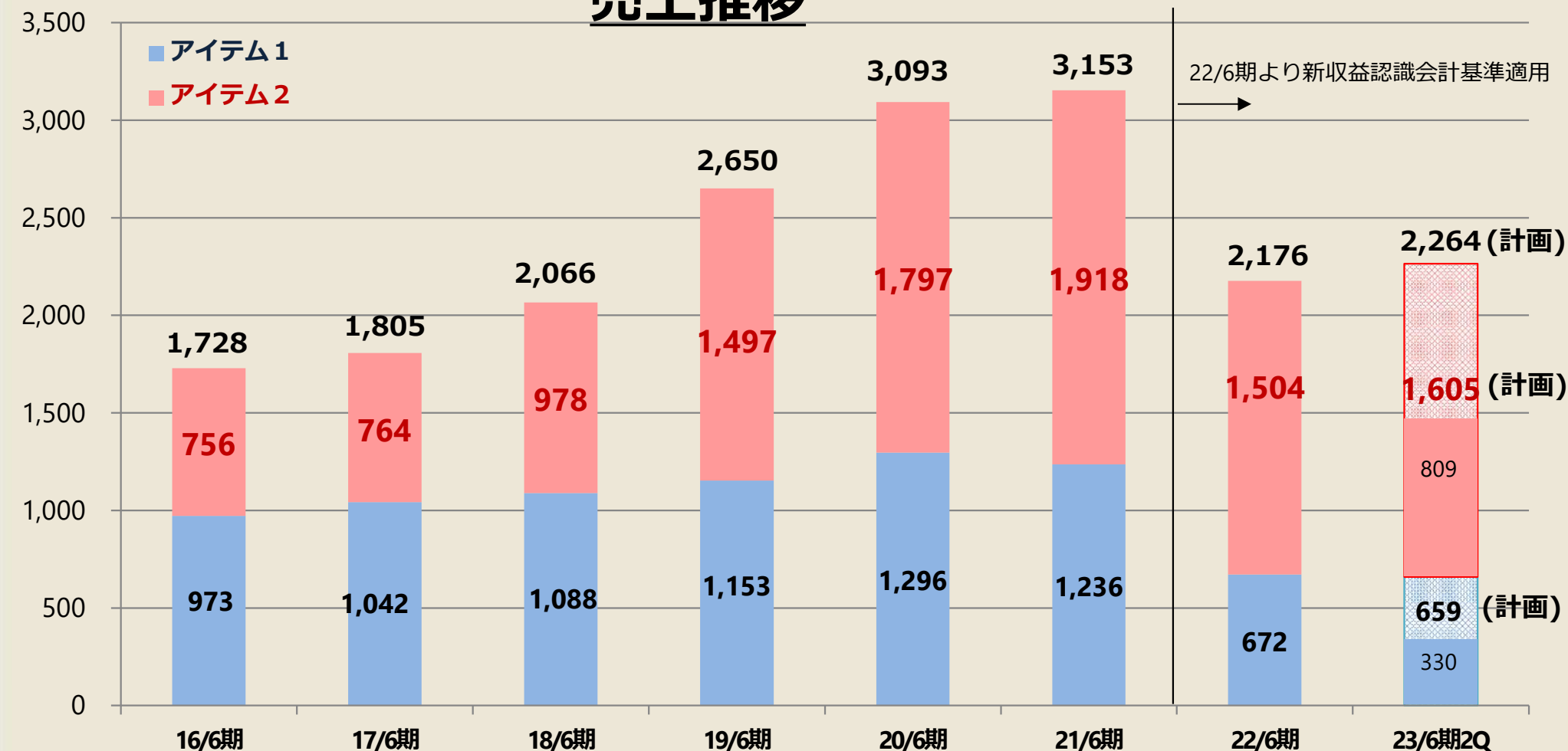
自動車関連 (S&S-AT)

自動車ワイヤーハーネス組立装置などを開発・製造しており、堅調に推移しています。

受注拡大により更なる安定事業に発展

単位：百万円

売上推移



22/6期より新収益認識会計基準適用

2017年 アイテム2
生産フロア拡充、ライン増設

2019年 アイテム2
1品種追加、ライン増設

2022年 アイテム2
新工場の増設ライン稼働開始

今期の見通し

通期連結業績見通し

※当期より売上原価から控除しておりました有償受給取引における受給品に含まれる標準スクラップ価額を「売上高」に含めて表示しております。2022年6月期の「売上高」については、この表示方法を反映させた組替え後の数値で表示し比較しております。

14

セグメント別売上高

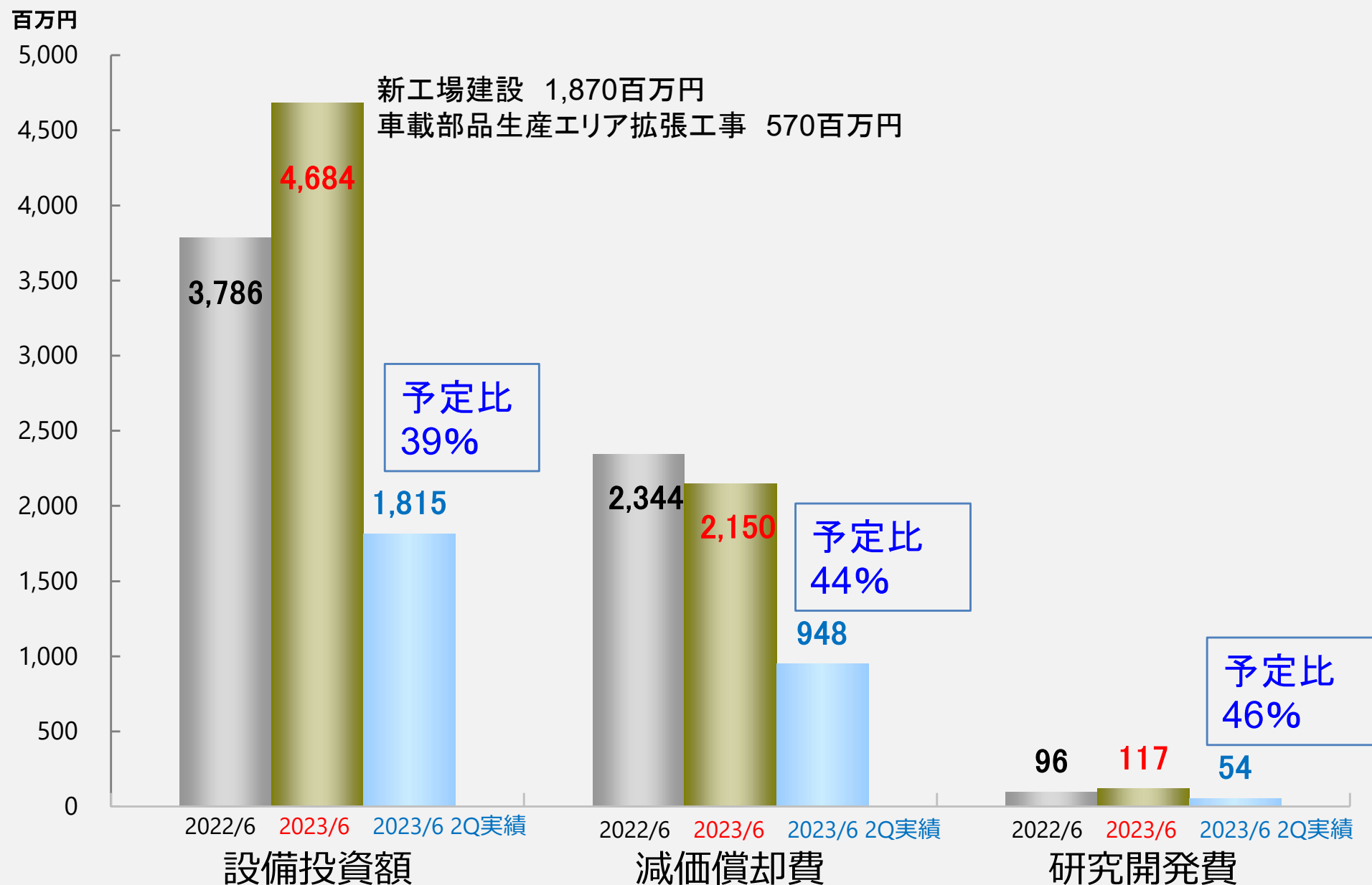
(単位：百万円)

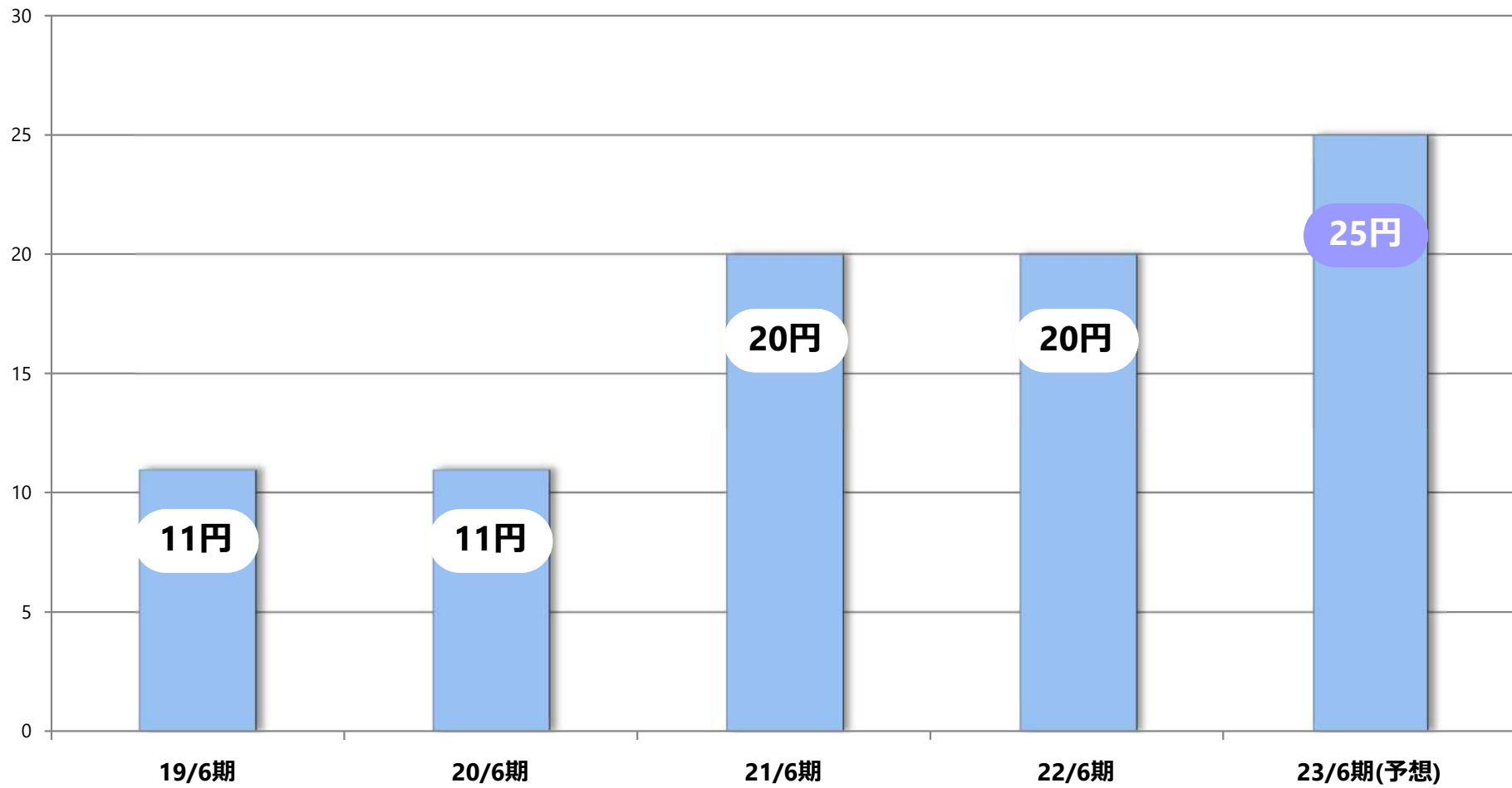
	2022年6月期		2023年6月期予想		増減		
	金額	構成比%	金額	構成比%	金額	金額比%	構成比%
■ 金型	1,536	5.9	1,763	5.9	227	14.8	0.1
■ 部品	18,680	71.6	21,477	72.4	2,796	15.0	0.8
■ 電子部品コネクタ	15,183	58.2	17,857	60.2	2,674	17.6	2.0
■ 自動車電装部品コネクタ	3,497	13.4	3,620	12.2	123	3.5	△1.2
■ 機械器具	5,859	22.5	6,401	21.6	542	9.2	△0.9
■ 賃貸	7	0.0	8	0.0	1	8.2	0.0
合計	26,085	100.0	29,648	100.0	3,563	13.7	0.0

通期業績予想

(単位：百万円)

	2022年6月期		2023年6月期予想		増減	
	金額	売上比%	金額	売上比%	金額	増減比%
売上高	26,085	-	29,648	-	3,563	13.7
営業利益	2,958	11.3	3,235	10.9	277	9.4
経常利益	3,371	12.9	3,236	10.9	△135	△4.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,087	8.0	2,062	7.0	△25	△1.2





中期経営計画

当社が注力する新領域成長事業

医療組立の収益力向上

- ・増産計画に沿った生産キャパ拡大
- ・自社製の省人化装置の導入

自動車関連装置の拡大

- ・次世代ハーネス組立装置の開発・製造

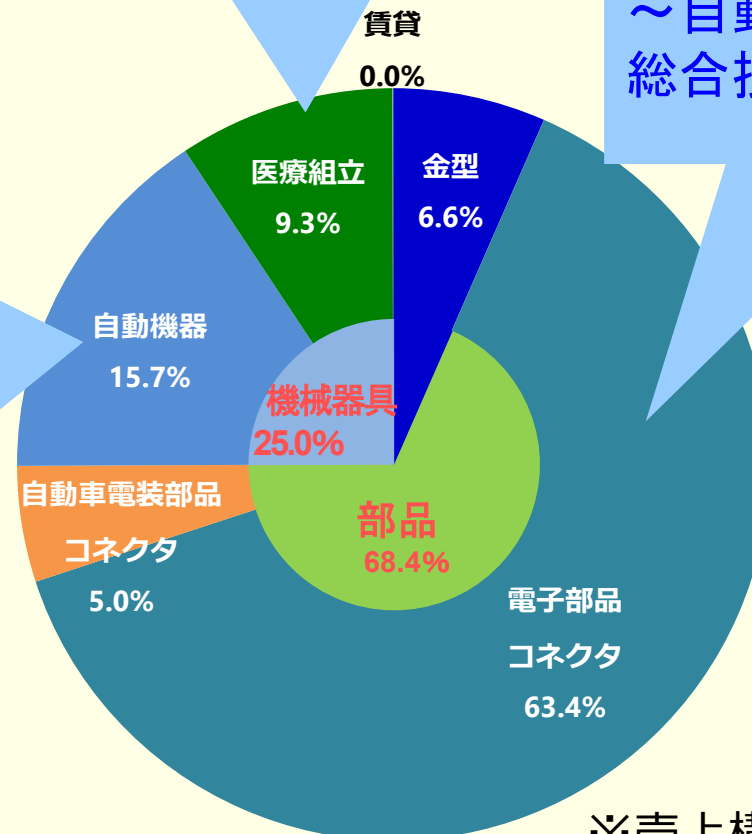
LED実装機の市場投入

- ・海外顧客へのアプローチ
- ・性能向上開発

車載部品ビジネスの拡大

- ・電池部品
- ・安全性能部品
- ・快適性能部部品

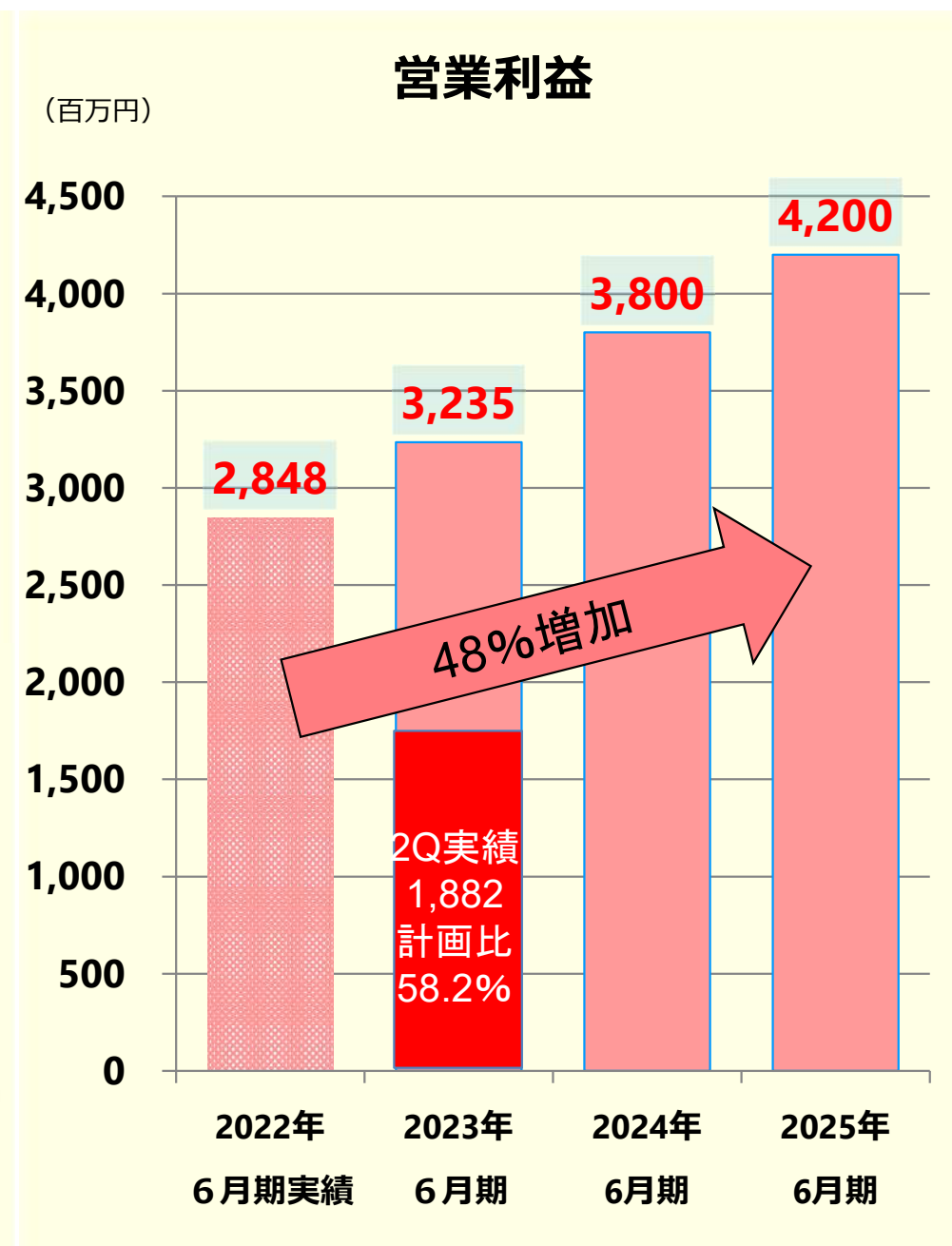
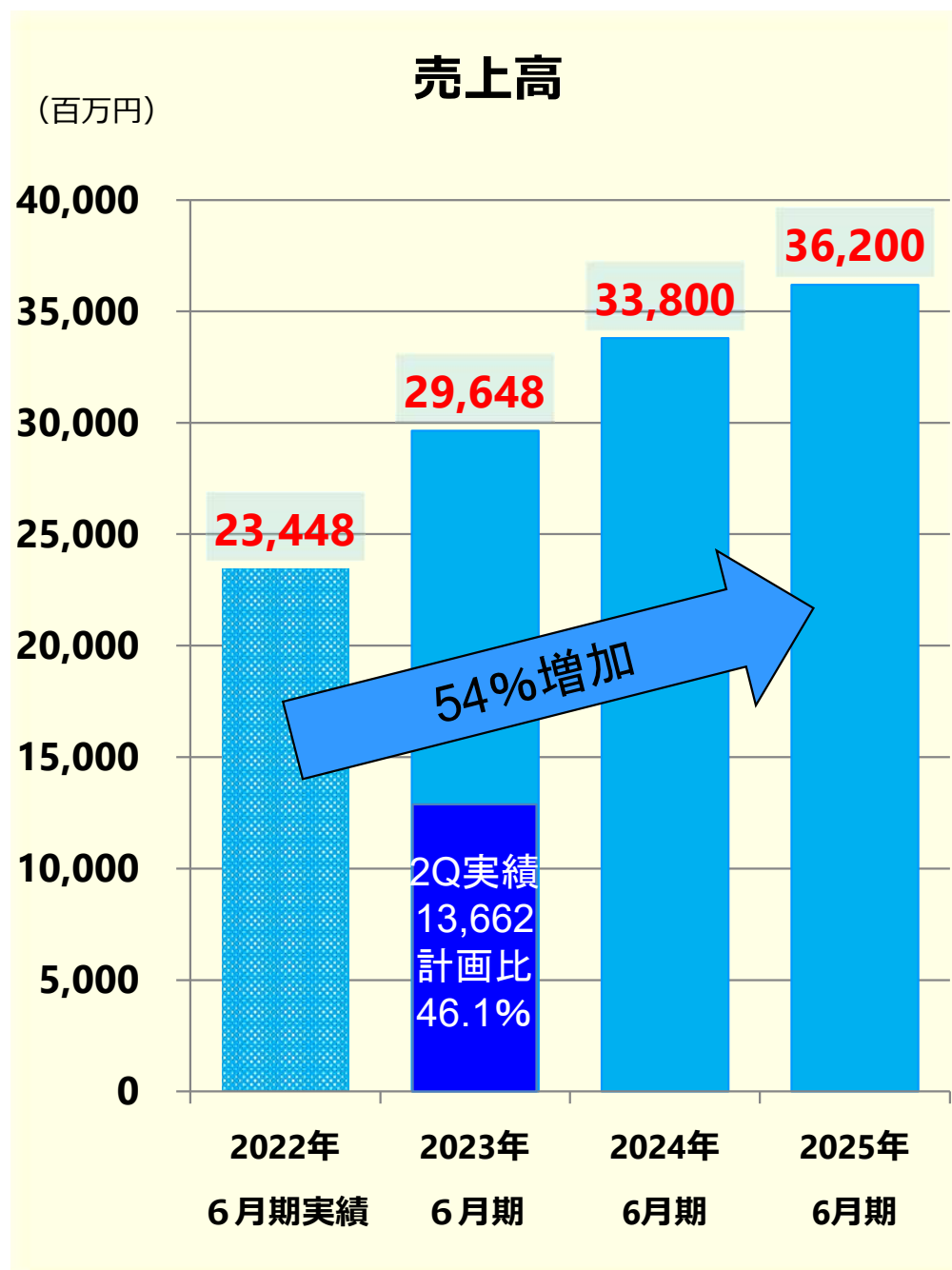
金型～プレス～めっき～成形
～自動検査・梱包の
総合技術で優位性を保つ

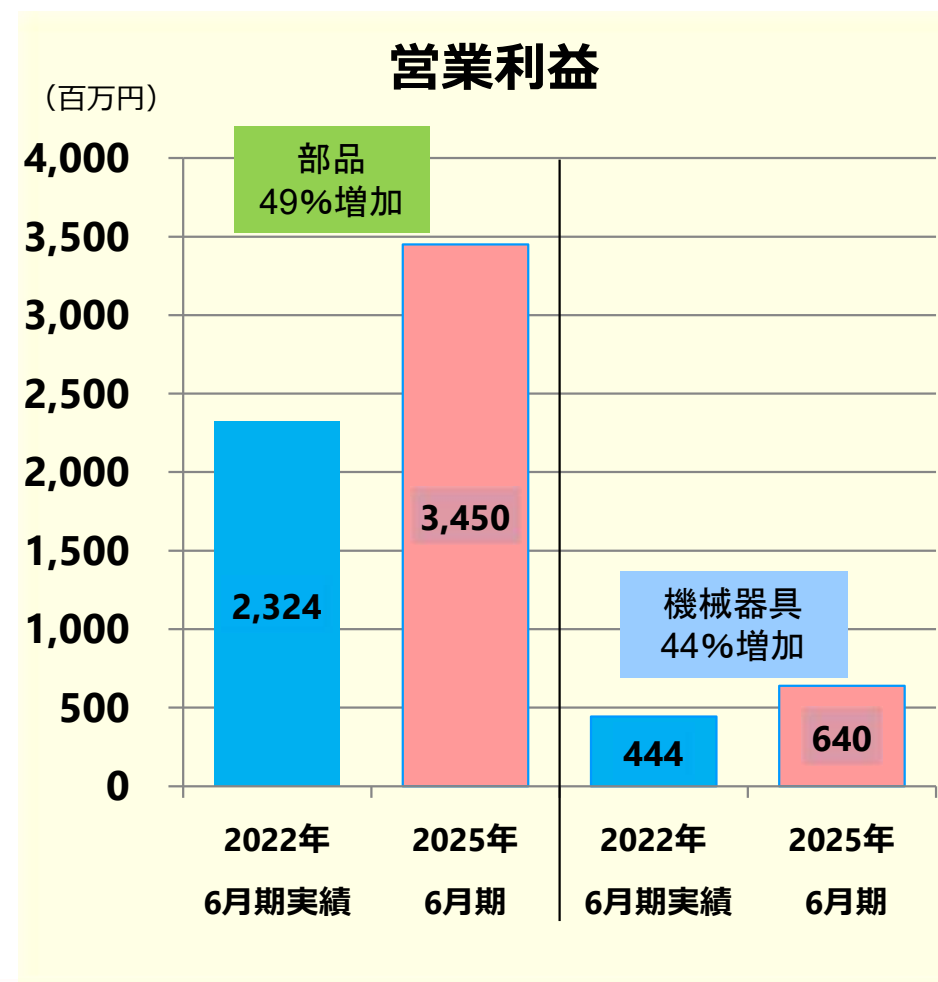
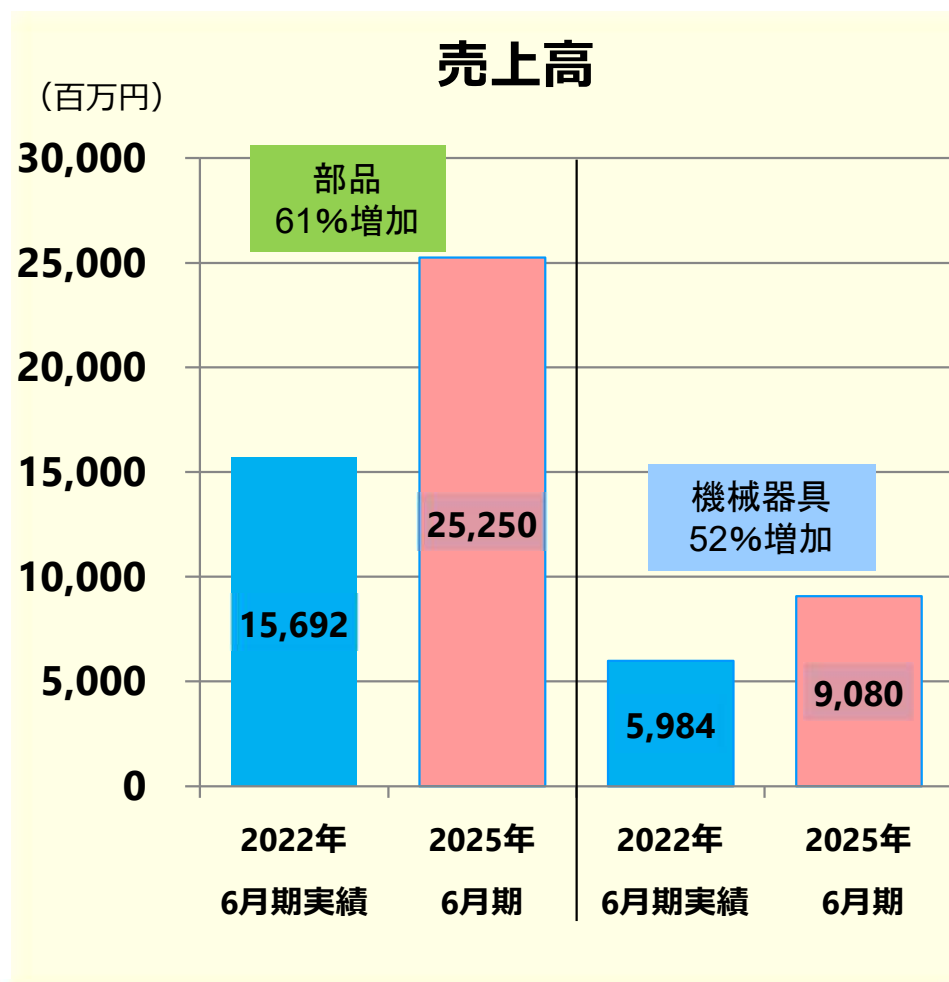


※売上構成比（2022年6月期実績）

中期経営目標（売上高、営業利益）

19





主要な部品セグメントと機械器具セグメントを三ヶ年で拡大

・部品セグメント取組み

- ①スマートフォン向け部品など既存製品のシェア拡大 ②自動車部品事業（電池部品など）への継続的投資と利益率向上

・機械器具セグメント取組み

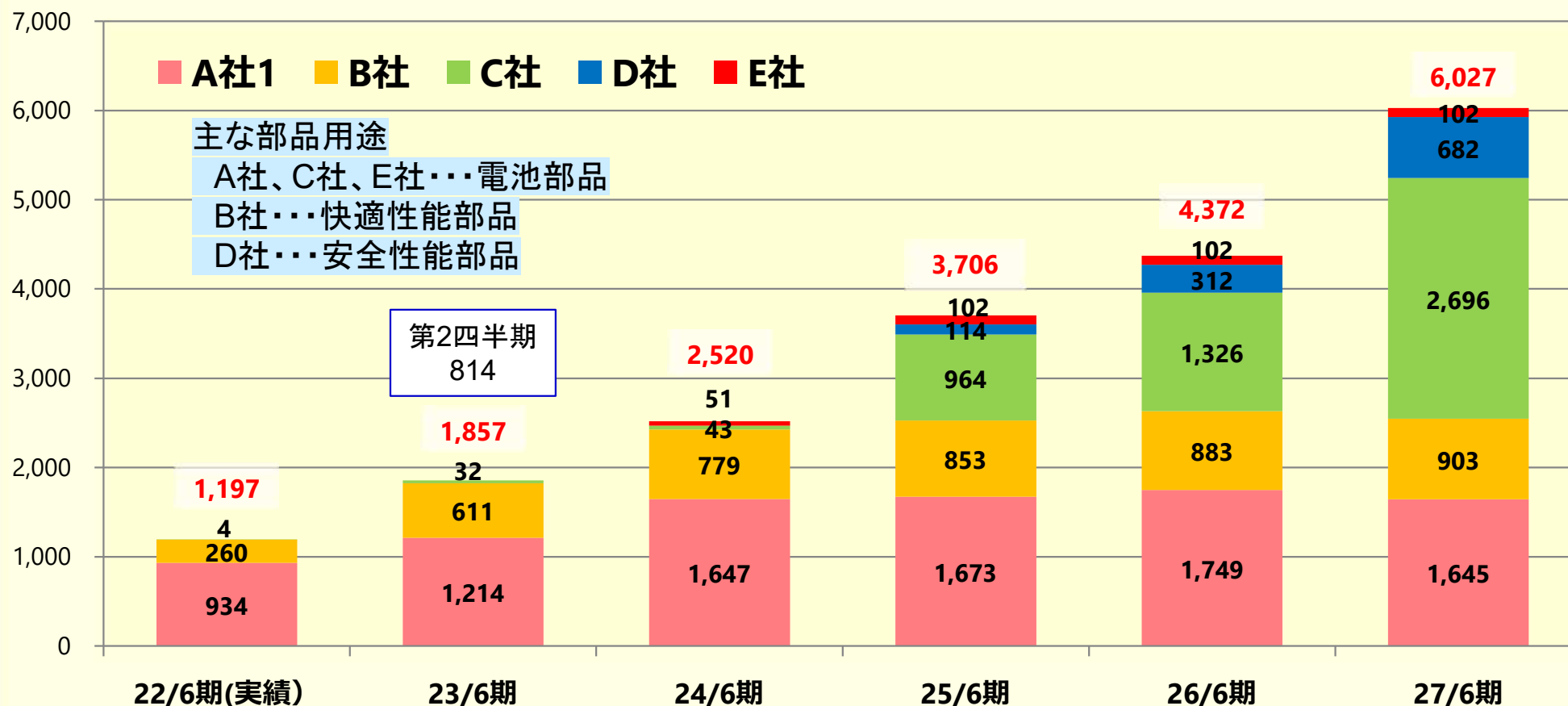
- ①新工場での自動車ワイヤーハーネス製造装置の生産能力を拡大 ②LEDフリップチップ実装機の市場投入

★ Tier1（ティアワン）向け車載部品ビジネス （二次電池向け部品事業を含む）

- ・ A社のトヨタ車向けリチウム電池部品（ヤリス等に搭載）は順調に拡大していく計画です。
- ・ C社向けのリチウム電池部品を2025年より生産を開始します。

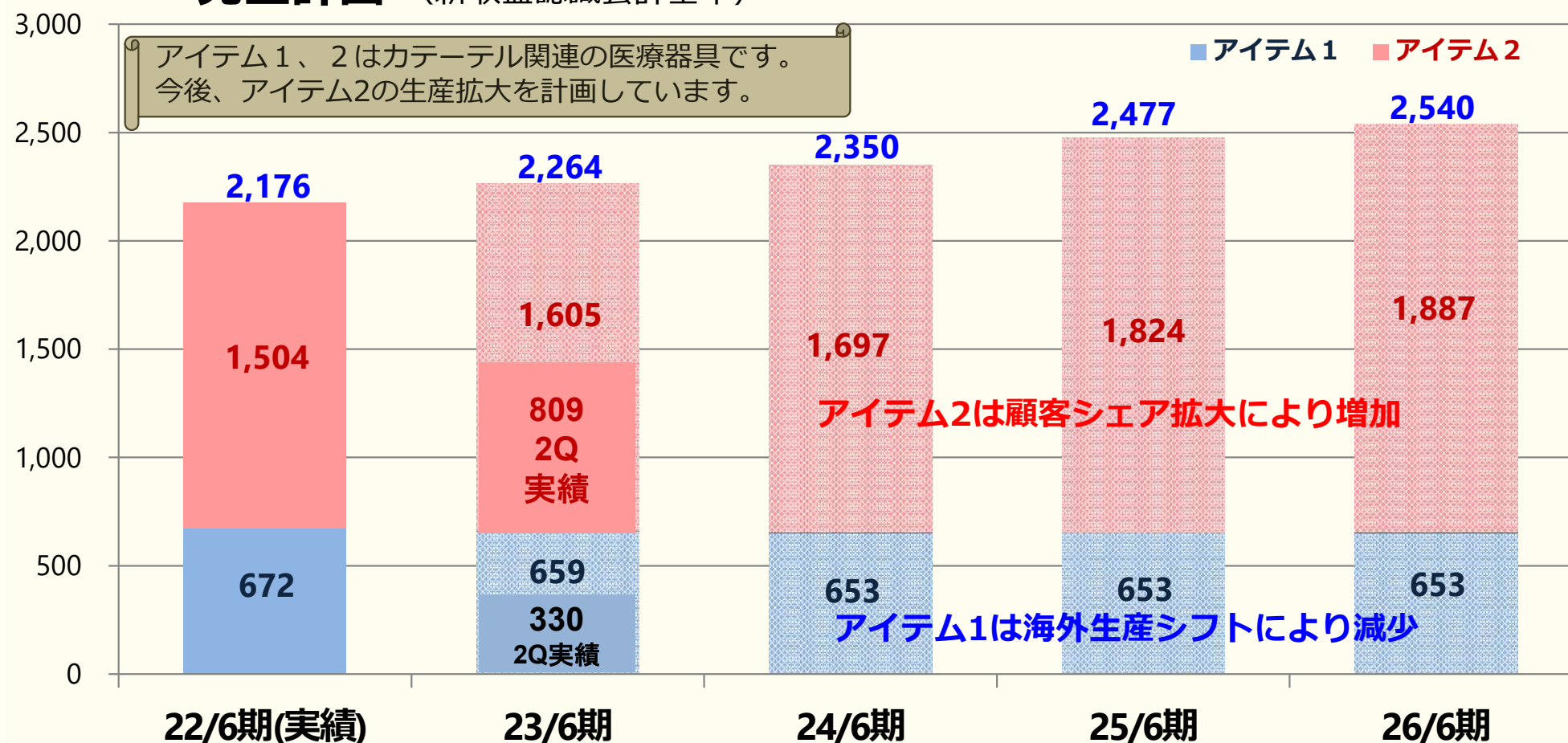
単位：百万円

売上計画（現時点での生産アイテムおよび受注予定アイテム）



★医療組立の今後の展望について

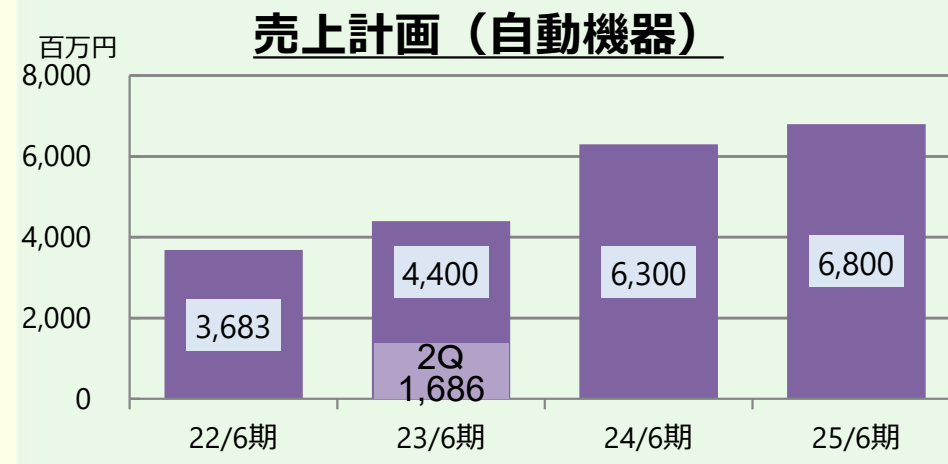
単位：百万円 **売上計画**（新収益認識会計基準）



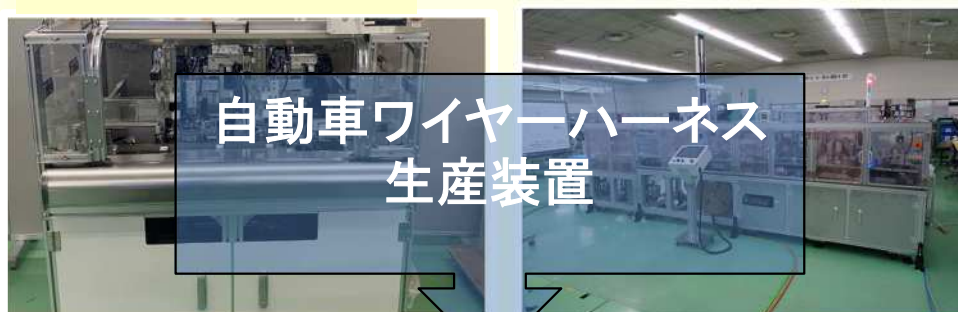
アイテム2は、自社製の自動化設備を開発・導入し、収益拡大を目指します。

★ 自動機器事業は自動車関連装置が拡大

2022年12月より新工場（須坂インター工場）の稼働開始



主な生産装置



客先最終製品
イメージ



この他に、基板実装ディスペンサー、リフロー炉、各種専用機を製造

Mini LED フリップチップ実装機 量産タイプ【BDM-3000】の販売を目指します

新型コロナウイルス感染症の拡大により、海外で予定していた展示会が中止になるなど、拡販スケジュールが遅れています。

メインターゲットは中国市場ですが、ここで渡航制限が緩和されたため、展示会への出店など営業活動を進めていきます。

【BDM-1000】（デモタイプ）のプロモーションビデオをYouTubeにアップしています。

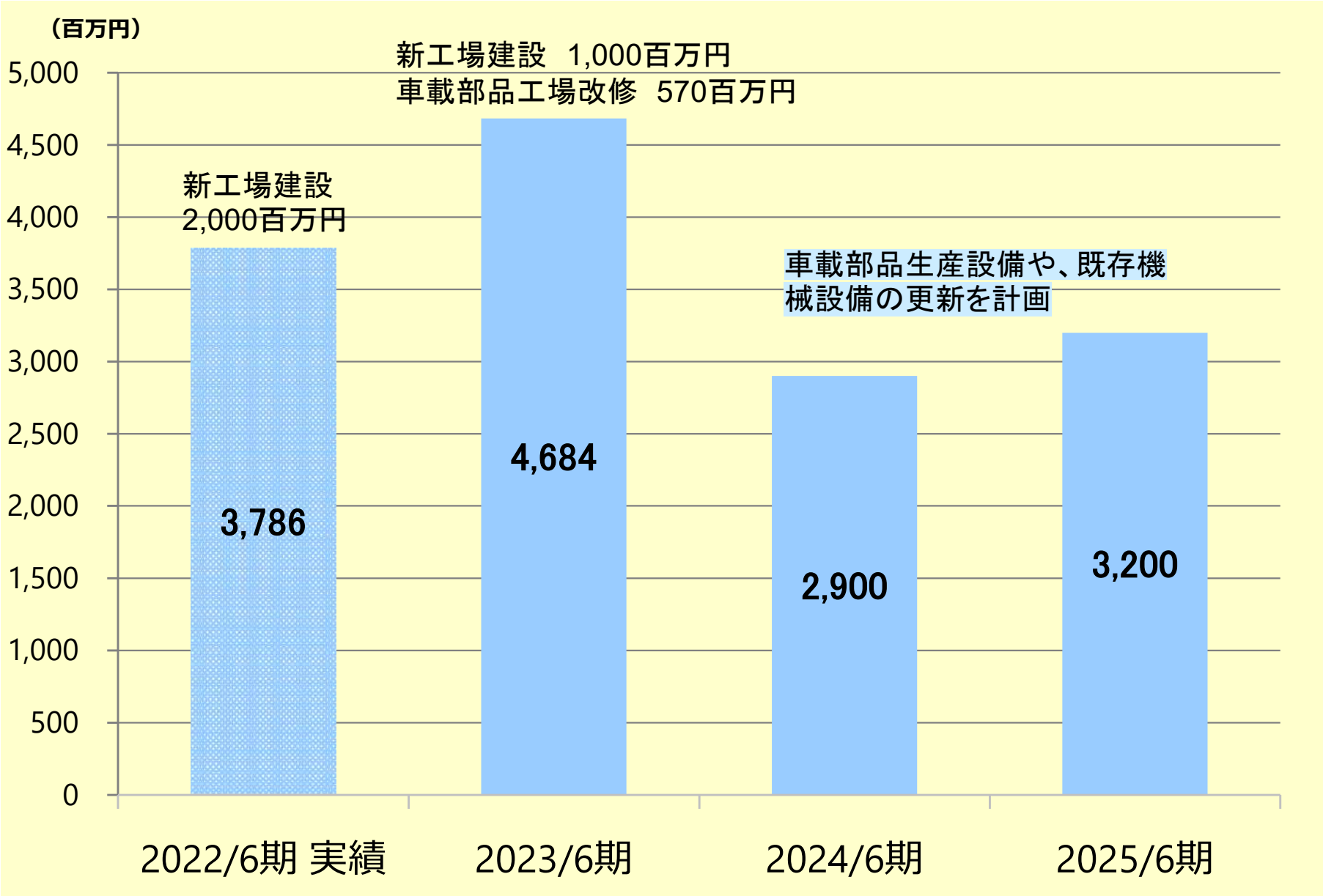
<https://www.youtube.com/watch?v=N9kfZv1YIJE>

【BDM-3000】（量産タイプ）のキックオフビデオをYouTubeにアップしています。

[Mini LED wafer direct flip chip shooter BDM 3000 - YouTube](#)

販売ターゲットは、LCDディスプレイ用ローカルデミングバックライト市場
（バックライトを細分化してコントラスト向上）





Being an “Only△One Company”

本資料は、2023年6月期第2四半期の業績に関する情報の提供と、当社に対するご理解をより深めて頂くことを目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2022年12月末時点のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。

お問い合わせ

ir2006@suzukinet.co.jp

代表取締役社長
管理本部経理部長



参 考 資 料

経営理念

「不への挑戦」 微細金型技術の徹底的な精度追求 = 不可能への挑戦

商 号

株式会社鈴木

英語名：SUZUKI CO., LTD.

創 立

1933年6月10日

本 社

長野県須坂市大字小河原2150-1

上 場

2001年2月16日 JASDAQ

2014年7月31日 東京証券取引所市場第一部

2022年4月4日 同 プライム市場へ移行 証券コード：6785

代 表 者

代表取締役社長 鈴木 教義

事 業 内 容

電子部品コネクタ、電子部品搭載装置、半導体関連装置、各種専用機、
精密プレス金型・モールド金型 および医療関連器具の製造・販売

資 本 金

24億4,245万円

発行済株式数

14,404,400株（100株単位）

関 連 会 社
（連結子会社）

〔国内〕 S&Sコンポーネンツ株式会社（持株比率：51.0%）

S&Sアドバンステクノロジー株式会社（持株比率：51.0%）

エスメディカル株式会社（持株比率：100.0%）

〔国外〕 中国：鈴木東新電子（中山）有限公司（持株比率：80.0%）

鈴木東新電子（香港）有限公司（持株比率：80.0%）

インドネシア：PT. SUGINDO INTERNATIONAL（持株比率：99.99%）

（2022年8月にPT.GLOBAL TEKNINDO BERKATAMAを吸収合併）

従 業 員

【連結】 1,044名

【単体】 486名

※ 2022年12月末現在

●大株主情報

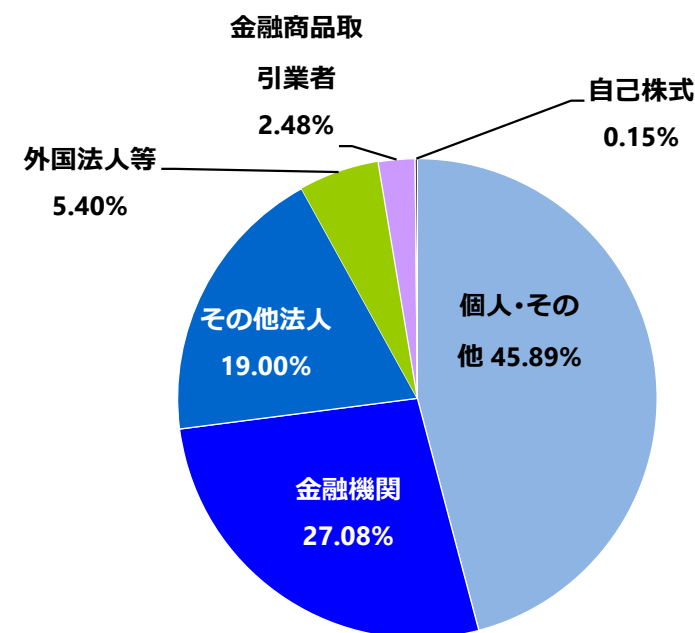
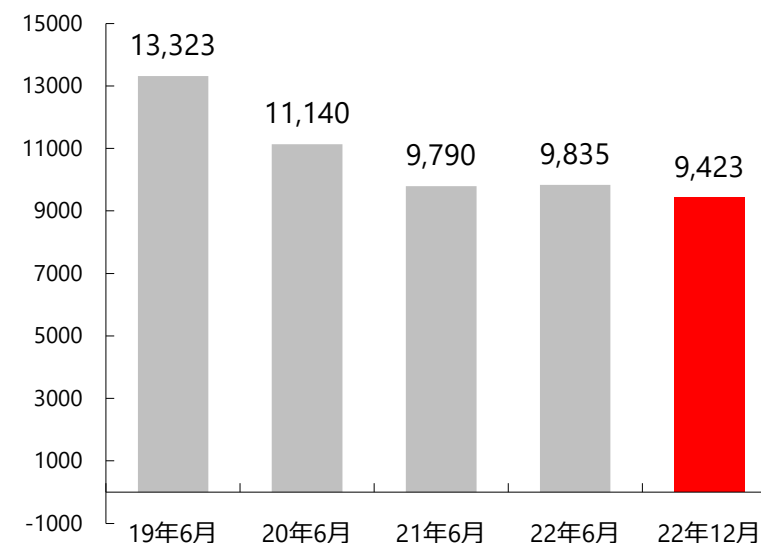
株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
株式会社クリンゲル	2,272,600	15.80
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	1,724,000	11.99
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,580,400	10.99
鈴木従業員持株会	583,004	4.05
鈴木 教義	370,340	2.57
株式会社八十二銀行	310,000	2.16
小島 まゆみ	208,000	1.45
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	203,300	1.41
高野 忠和	196,600	1.37
岡三証券株式会社	170,200	1.18

※持株比率は、自己株式 (21,202株) を控除して計算しております。

●所有者別株式分布状況

	株主数 (名)	株式数 (株)	株式数分布比率 (%)
個人・その他	9,250	6,609,963	45.89
金融機関	13	3,901,000	27.08
その他法人	64	2,736,514	19.00
外国法人等	74	778,034	5.40
金融商品取引業者	21	357,687	2.48
自己株式	1	21,202	0.15

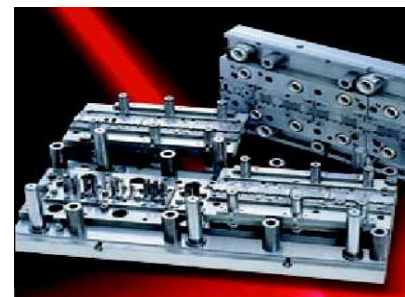
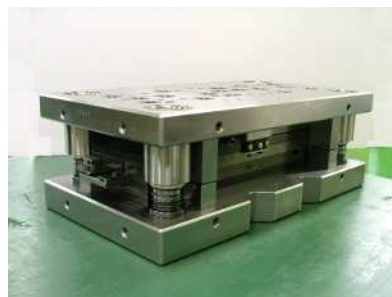
●株主数の推移



金型： ～長年の研鑽による匠の技：当社のコア技術～

業界最高レベルの
精密金型の設計・製造

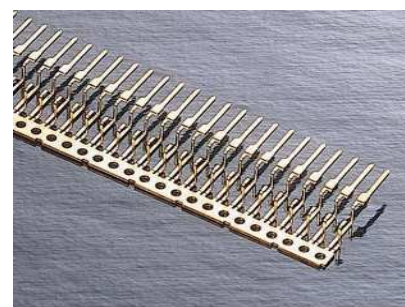
売上構成比：5.3 %



部品： ～金型を用いた精密部品の量産加工～

電子部品や自動車
電装部品の量産加工

売上構成比：74.0 %



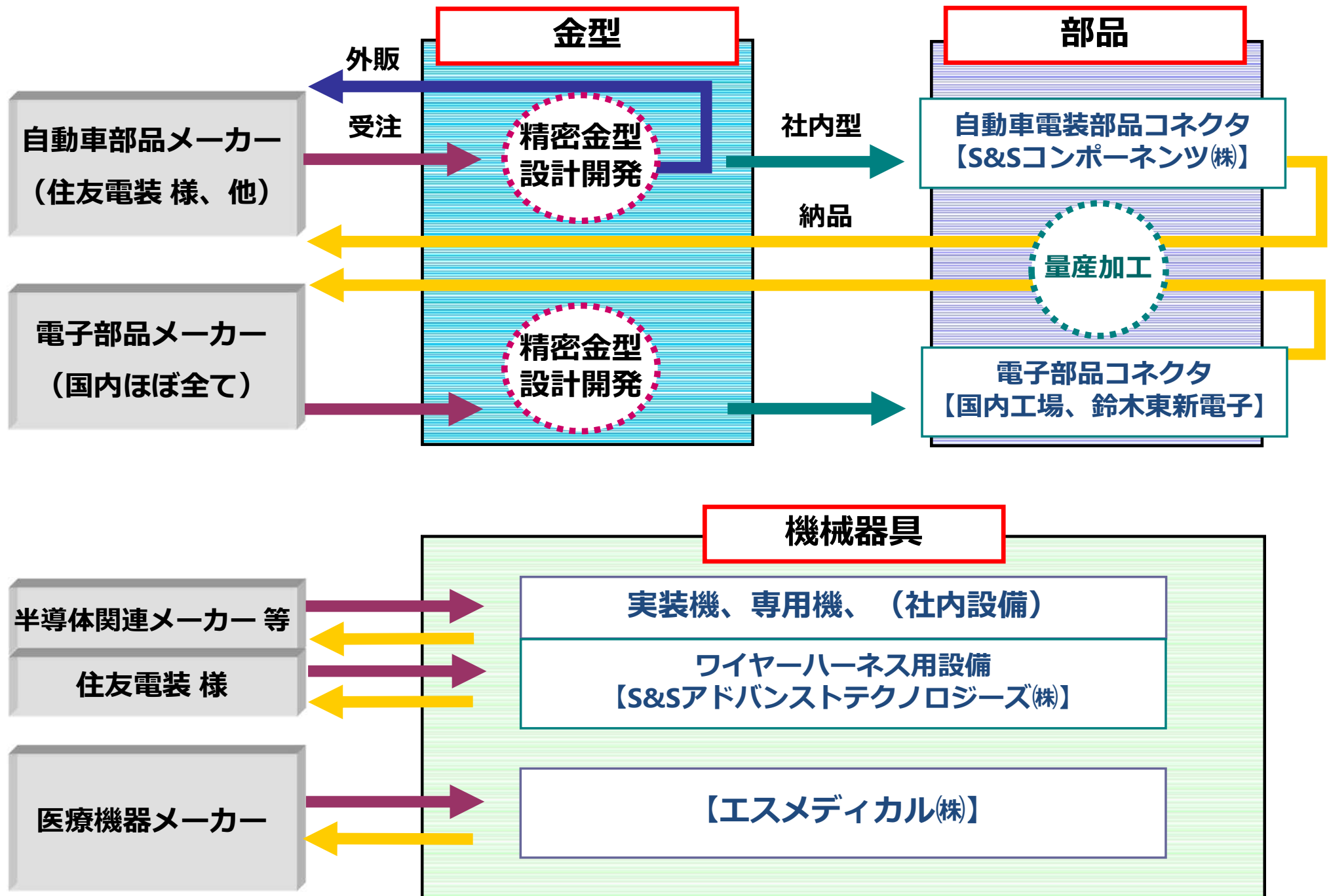
機械器具： ～金型・部品事業で培った技術ノウハウの応用～

実装機や省力化機器の
設計開発
医療関連器具の組立

売上構成比：20.7%

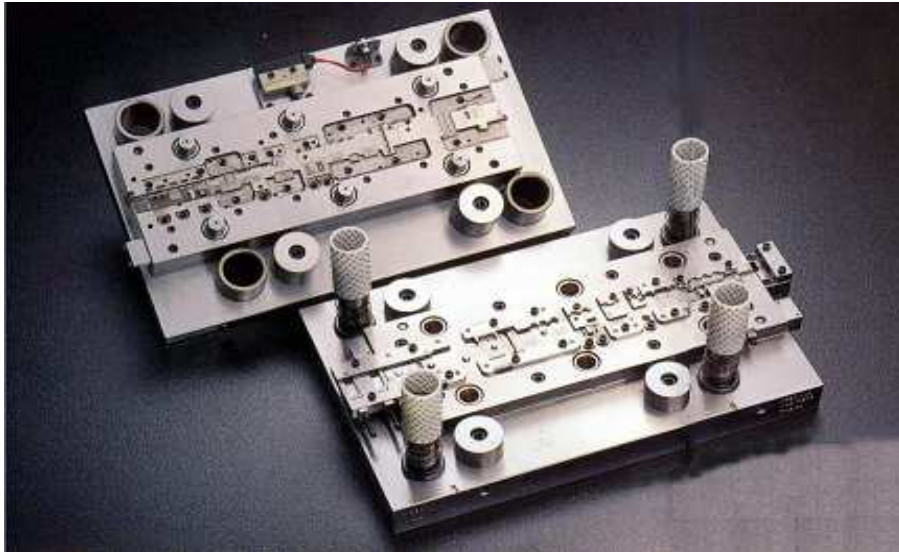


※ 売上構成比：2022年12月末現在



「金型」

精密コネクター金型の外観（上下別、全体）



「プレス加工」

一般的な圧着端子の加工レイアウト



1ピッチずつ順送りして、抜き・曲げ等のプレス加工を行う